

# すこやかだより

大

阪

乳

児

院

の

と

り

く

み

## ワクチンで病気に負けない体に

当院には生まれて間もない赤ちゃんから2歳の幼児まで約70人が生活しています。集団生活なので、風邪や胃腸炎が流行することもあるので、個人も集団でも予防できるように予防接種を実施しています。

ワクチンを接種することにより、ウイルスや細菌に対する免疫を作り出し、病気になりにくくなるのです。

赤ちゃんは、お腹にいるときにお母さんから様々な病気に対する免疫が受け継がれます。しかし、成長するにつれ抗体は失われていきます。そのため、予防接種のスケジュールを立て、月齢に合った予防接種を実施しています。

みんなも泣いてしまうけれど、注射を頑張っています。



## もしもの備え 子どもと確認

大阪乳児院では毎月1回、防災訓練を行っています。毎回設定を決めて、火事、地震、津波に対応できるように職員、子ども達で訓練しています。以前、消防署の職員さんに来て頂き、避難方法の確認と改善点を教えて頂きました。教えに沿って実施しています。

避難するよう放送があればみんなでベッドやバギーに乗り込み避難します。職員も大きな声で声を掛け合い、早く全員避難できるように頑張っています。



大阪乳児院長 末廣 豊



新年あけまして、おめでとーいさいます。本年も、どうぞよろしく お願い申し上げます。

今回は、サンタシンポジウムで話させていただいたことと、平成29年度の済生会乳児院協議会について述べてみたいと思います。

昨年10月28日(土)にこどもの社会的養護に関わる医療と福祉の専門家たち、7名がそれぞれの知見を共有する機会がないという現状をふまえ、一般財団法人H.S.のサンタの主催で初めてのシンポジウムが、阪急百貨店うめだ本店9階阪急うめだホールにて、開催されました。私は、乳児院代表として、全乳協、近乳協からの依頼を受けお話をさせていただきました。

医療の現場からは、①和田浩氏(小児科医の立場から、子どもの貧困について)、②金子法子氏(産婦人科医の立場から、子どもたちへの性教育の重要性について)、③宮川美奈子氏(産科医院に勤務する師長の立場から)の三人が、福祉の立場からは、①藤野興一氏(鳥取こども学園の理事長・全国児童養護施設協議会の前会長・里親支援とつとり所長の立場から)、②津崎哲郎氏(大阪児童福祉事業協会理事長の立場から)、③ト蔵康行氏(日本ファミリーホーム協議会会長・宮城県なごみの会(里親会)会長の立場から)そして私が小児科医として勤める病院併設型の、医療と福祉の接点である乳児院の立場からお話を各人約20分で行いました。

私は、大阪乳児院が全国乳児院協議会や近畿乳児院協議会で学んできた事を前半で、そして後半で今の大阪乳児院の現状を、入所理由の変遷、病児の内訳、リハビリを受けている児の内訳、里親委託されて非常に上手くいっている児の紹介などをお話いたしました。このあと、パネルディスカッションが、由井秀樹氏(静

## おうちで作って みませんか? ~お手軽レシピ~ No.21

### 大根もち

- 直径6~7cm大 4枚分
- 【材料】  
 大根.....120g  
 白玉粉.....100g  
 塩.....ひとつまみ  
 ツナ缶.....100g  
 青ネギ.....2本分  
 サラダ油.....大さじ1

- 【たれ】  
 めんつゆ(3倍濃縮).....大さじ2  
 水.....大さじ2  
 ごま油.....大さじ1  
 七味.....少々  
 ごま.....少々

### 【コメント】

冬が旬の大根は、おでんやブリ大根、味噌汁やなます、といろんなおいしい食べ方がありますが、おろして混ぜて焼くだけでお昼ご飯やお酒のおつまみにもお勧めの一品になります。ツナ缶の代わりに干しえびやしらすぼしでもおいしくできます。



HAPPY NEW YEAR

新年を迎え、皆様はどのようなお正月をお過ごしになりましたでしょうか。大阪乳児院では元気な子ども達の声や、ししまいにびっくりして泣いてしまったり、お正月の歌を大きな声で歌ったり賑やかなお正月となりました。

昔から1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言いますが、早いもので今年も1月が過ぎようとしています。子ども達の成長も本当に早く、あっという間に過ぎてしまいます。貴重な毎日大切に、子ども達が持ち前の力を十分に発揮し、さらなる成長ができるよう願いながら接していきます。今年も職員共々、どうぞ宜しくお願いいたします。

(編集委員 河野)

岡(大学)がコーディネーター、コメンテーターとして奥山眞紀子氏(国立成育医療研究センターこころの診療部部長)と相澤仁氏(大分大学福祉健康科学部教授)、そして先の7人がパネラーとして議論いたしました。このシンポジウムのメインタイトルは、「児童虐待・社会的養護―医療・福祉連携のこれから―」子どもの未来への架け橋です。いままで、一番熱のこもった議論が展開できたものと思います。

つぎに済生会乳児院協議会ですが、昨年は福井乳児院のお世話で、11月16日(木)、17日(金)に福井市で開催されました。2日目に、福井児童相談所所長 岸野徹氏の特別講演「子どもの最善の利益と社会的養護」を聴きました。このなかで、先に発表された奥山眞紀子先生たちの「措置入所の」「里親委託率を75%に増やす」というのは、本末転倒で、やはり乳児院としては、家庭支援が根本的に大切でありそれが児童相談所の最も重要な仕事である、というご講演を拝聴しました。なるほど、社会的養護は、家庭支援が基本的には大切である、ということなのですが、8月2日にプレスリリースされた厚労省のおはなしは、現状はそれができないから、家庭支援に当たる職員の数が圧倒的に足りていないから、里親委託を増やす施策をとり、ということでありまして、世界的に見てもそのことが今の日本には欠けているようだ、ということなのであります。

5年後には大阪乳児院は、大淀地区に新しく移転することに決まっております。そのときには小規模グループケアを実施して、できるだけ家庭の養育に近い環境で子どもたちを確実に養育できることとなります。

最後になりましたが、私はこの3月に定年退職をいたします。平成12年4月1日から、ちょうど18年間、大阪乳児院の院長として勤めてまいりました。皆様から多くのご助言、ご支援を頂戴いたしましたこと、厚く御礼申し上げます。今度、新しく生まれ変わる乳児院にも倍旧のご支援を賜りますことをお願いいたします。私からのお礼の言葉といたします。本当に有難うございました。

\*大阪乳児院運営理念\*

- ・子どもの最善の利益を守ります
- ・社会的養護の立場から、地域社会と協力して、子どもとご家族を支援します





# 元気にメリークリスマス!

12月25日にはクリスマス会が行われました。みんなでプレイルームに集まり、保育士劇を見たり、ハンドベルの合奏を聞いたりしました。サンタさんが登場すると少しびっくりして固まっていたが、「あっ、あ!」「サンタさん」と興味津々の子どもたちでした。昼からはサンタさんが部屋に来てくれて、一人ずつプレゼントを貰いました。サンタさんからもらった自分の玩具で、たくさん遊び大喜びの子ども達です! クリスマスの食事も楽しみがいっぱいで、子どもたちの好きな物がたくさんです。綺麗に飾り付けられていて見ただけでも歓声上がり、大きな口を開けてたくさん食べていました。もっともっと食べたくて、なかなかごちそう様が出来ませんでした♡



乳児院では、クリスマス会の前から、大きなサンタやツリーを飾りクリスマスムードを高めました。煙突から出たり入ったりするサンタさんの大きな人形は、怖がる子の方が多かったかも・・・。

12月に入るとサンタさんから子ども達に手紙が届きました! 手紙を読んだり、クリスマスの絵本や音楽を聞いてとても楽しみにしていました。

大きなお友達はツリーの色画用紙にシールを貼って飾り付けしました。ちょっと貼る子もいれば、いっぱい貼る子も。個性あふれる装飾が並びました。



# 今年もいっぱい泣いて笑って

明けましておめでとうございます。1月も皆で製作をしました。足型と手形をとり、色を塗ったら可愛い獅子舞と鏡餅の出来上がりです。ゾウ・キリン室では、今年は成年!という事で、みんなが大好きなワンワンと、だるまさんに顔を描きました♪しっかりペンを握って、力強く目と口を描いていましたよ! 1月3日には獅子舞がやってきて、頭をカブッと食べてもらいました。はじめての獅子舞にビックリして泣いてしまう子もいました。病気や怪我なくみんなが元気に過ごせますように。



大晦日にはおせちの寄付が届きました。職員が飾りつけた生け花と相まって、華やかに新年を迎えることが出来ました。お正月には、職員手作りの門松も登場しました。子ども達は飾り餅や華やかな生け花に興味津々。ちょっと触れてみたり、記念撮影をしたりして楽しみました。

